

参 考 手 本

秋風枝上鮮やかに

上 秋
鮮 風
枝

成 瀬 映 山 先 生

※これは規定課題ではありません。

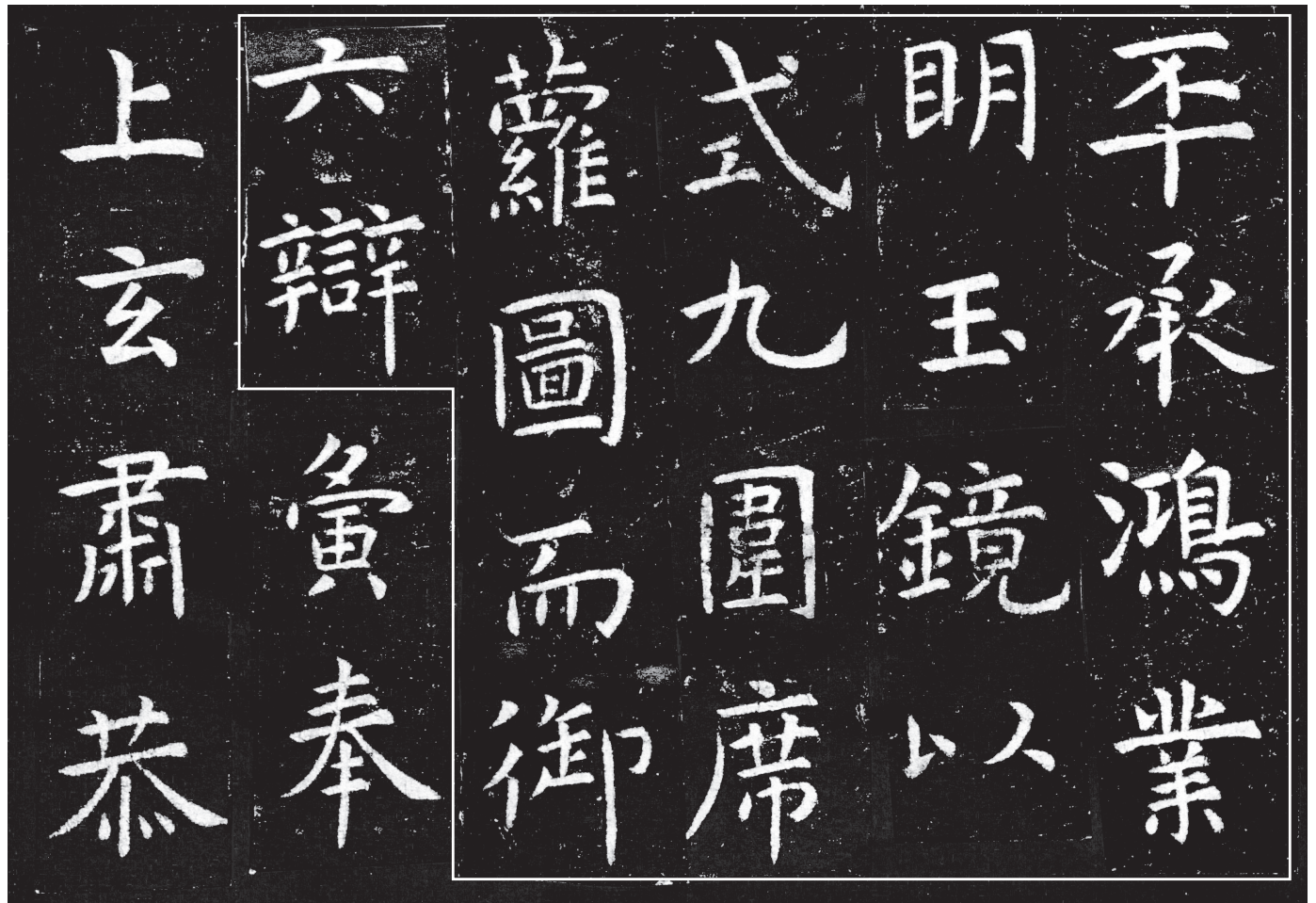
参 考 手 本

萬法は無門より出づ

無 門 萬 法 出

※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生



ぐせいなん 虞世南 (唐) 『孔子廟堂碑』 ⑥

不承鴻業。明玉鏡以式九圍。席蘿圖而御六辯。夤奉上玄。肅恭

おほ 丕いに鴻業を承く。玉鏡を明らかにして以て九圍を式め、蘿図に席して、六弁を御す。夤んで上玄を奉り、肅んで(清廟を)恭う。

大いなる功業を承けつがれ、玉鏡を明るく輝かして九州を治め、図書を並べて座席とし、天下の六気の変化をすべて制御しておられる。つつしんで上天を奉り、うやうやしく(清廟を)尊び、

【今月の課題】

「不承鴻業明玉鏡以式九圍席蘿圖而御六辯」(18字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(11月10日締切)

条幅規定 ②

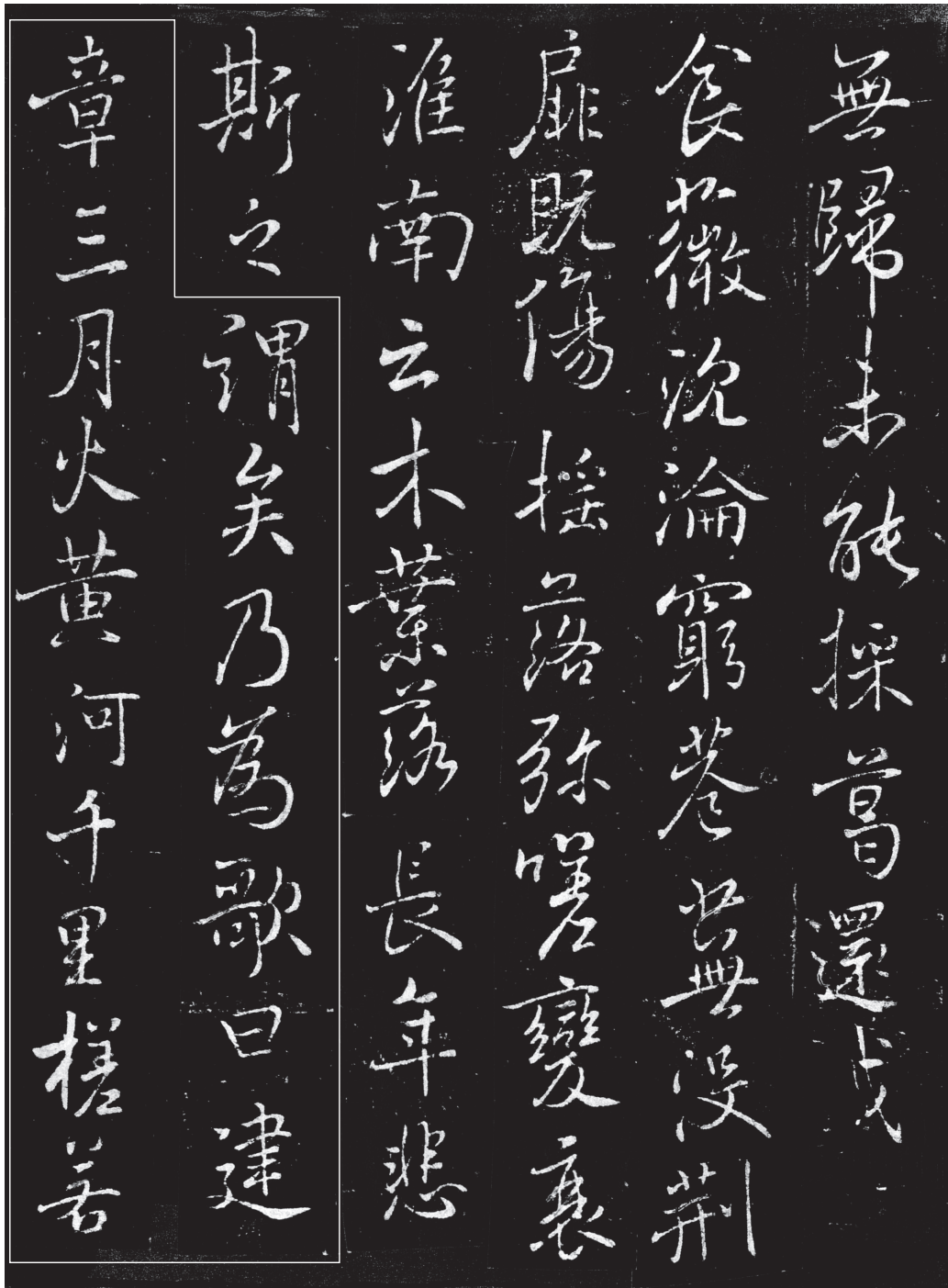
B部 (四段以下)

『枯樹賦』

楮遂良

(唐)

⑳



無歸。未能採葛。還成

食薇。沈淪窮巷。蕪沒荆

扉。既傷搖落。彌嗟變衰。

淮南子云。木葉落。長年悲。

斯之謂矣。乃為歌曰。建

章三月火。黃河千里槎。若

歸る無く、未だ葛を採る能わ

ず、還た薇を食すを成すをや。

窮巷に沈淪し、荆扉に蕪没

し、既に揺落を傷み、弥いよ

変衰を嗟く。淮南子に云う、

木葉落ち、長年悲しむと。斯

れ之の謂なり。乃ち歌を為り

て曰く、建章三月の火、黃

河千里の槎。若し

【今月の課題】 「謂矣乃為歌曰建章三月火黃河千里槎若」 (17字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・綴を記入して下さい

(11月10日締切)

半紙規定 (二)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)

同封弟叔振



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

福祿の同まる攸たり、弟叔振鐸を曹国に封ず

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

清下及太寧



※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔二級以下〕楷書

太清に(及び)、下は太寧に及び

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(11月10日締切)

条幅参考手本

静處有真樂 寄興筆墨間
 秋風吹落葉 露出數重山

野口紫仙先生

静處有真樂 寄興筆墨間 秋風吹落葉 露出數重山
 静処真樂有り 興を寄す筆墨の間 秋風落葉を吹き 露出す数重の山

渡辺小逕先生

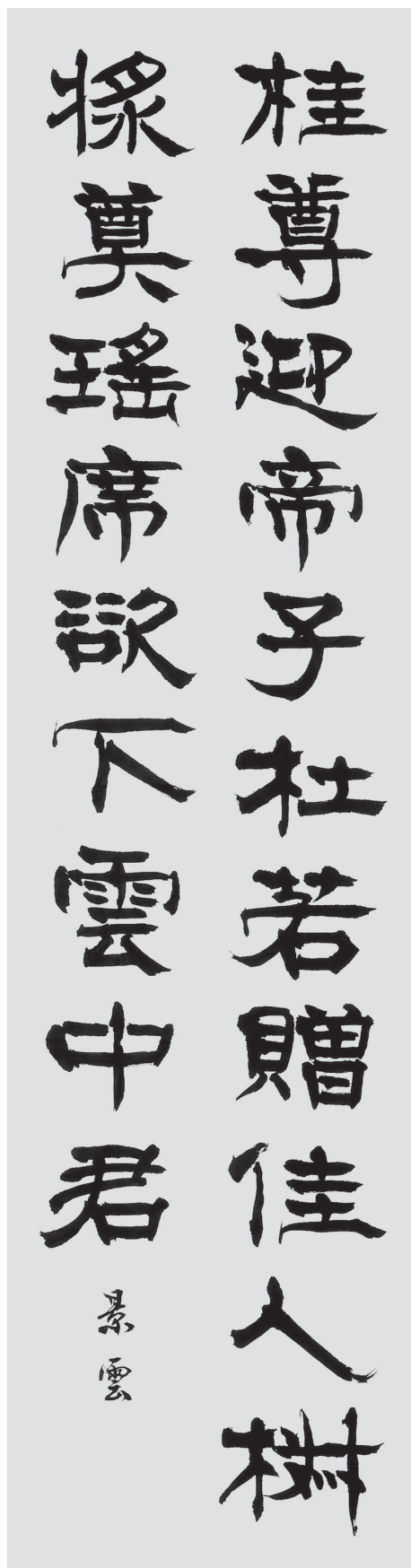
秋雨中宵滴 寒蛩四壁吟
 燈前搔短髮 誰會此時心

秋雨中宵に滴り 寒蛩四壁に吟ず 灯前短髪を搔き 誰か此の時の心に会せん

秋雨中宵に滴り 寒蛩四壁に吟ず 灯前短髪を搔き 誰か此の時の心に会せん

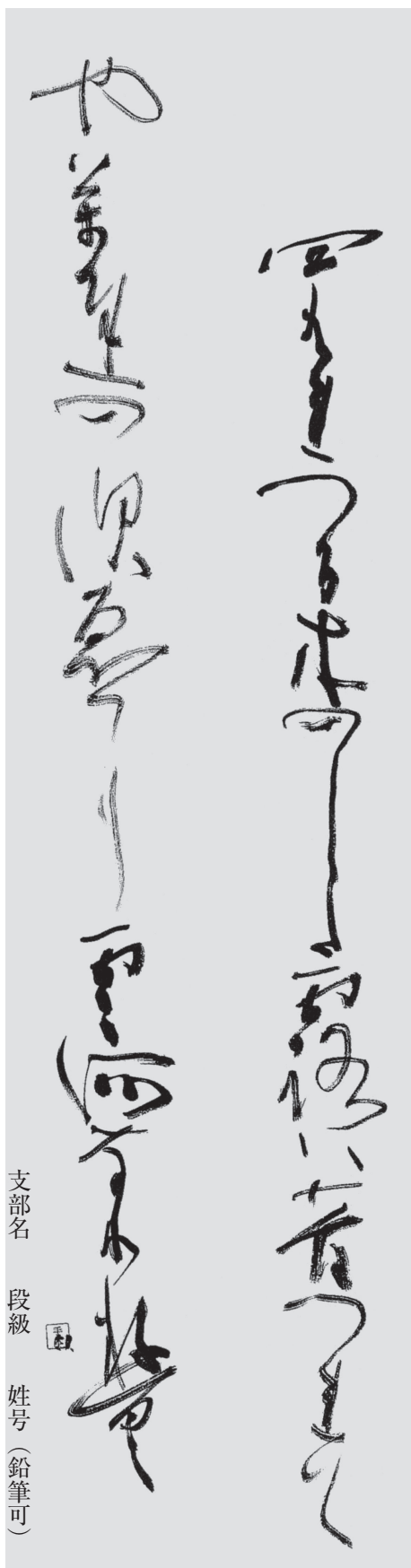
条幅参考手本

条幅かな



渡辺景雲先生

桂尊迎帝子 杜若贈佳人 椒漿奠瑶席 欲下雲中君
 桂尊もて帝子を迎え 杜若を佳人に贈る 椒漿を瑶席に奠し 雲中君を下さんと欲す



浮乗清郷先生

しぐれつる木の下の露は音づれて山路の末に雲ぞなり行く (宮内卿)
四九連

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号 (鉛筆可)

(11月10日締切)

半紙かな（1級以下）

一枝の濃紫（無ら紫の世）せる紅葉あり（竹下しづの女）

口
 小林素水先生
 一枝の濃紫
 せる紅葉あり

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

都（みよ）にてめぐらしとみる初雪（はつゆき）は吉野（よしの）の山（やま）にふりやしぬらむ（源景明）

小林素水先生
 都にてめぐらしとみる初雪は吉野の山にふりやしぬらむ

支部名 段 姓 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(11月10日締切)

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

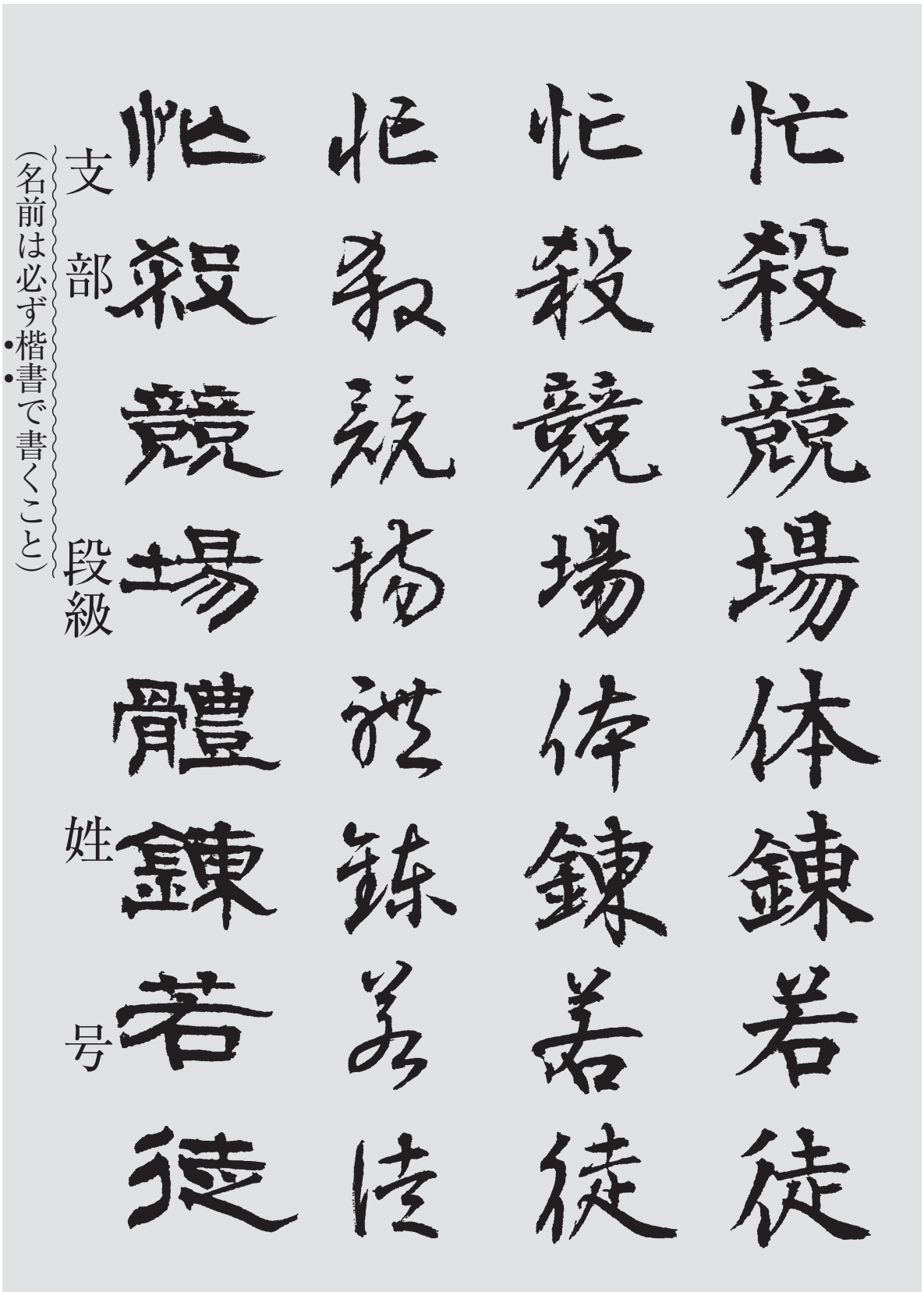
〈書風任意〉

書友の存在は学習・研究を続け
る為に大事です。自分自身の
疑問点や新しく発見など共に
学び充実感が得られます。
支部名 段級 姓号

石田輝仙先生

(11月10日締切)

細 字



※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

忙ぼう 殺さつ 競きやう 場じやう 大変いそがしい。 若じやく 徒と 若者。 競技場。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

日本書道のユネスコ無形文化遺産
 登録を実現させたい。
 支部 級 姓 号

齊藤 翡翠流 先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…柔らかく…剛健…。

羊毛筆は柔らかく墨含みも良く
 耐久性にも優れ、馬毛は剛健で弾力
 があり、イタチ毛は穂先がききま
 す。
 支部名 級 姓 号

青柳 江雲 先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

(11月10日締切)

中2用

支
部
名
自
然
野
山
の

段
級

名
前

渡邊南嶂先生

中3用

支
部
名
長
城
万
里
の

段
級

名
前

大越三宗先生

小6用

支
部
名
の
落
葉
山

段
級

名
前

渡邊南嶂先生

中1用

支
部
名
草
花
中
庭
の

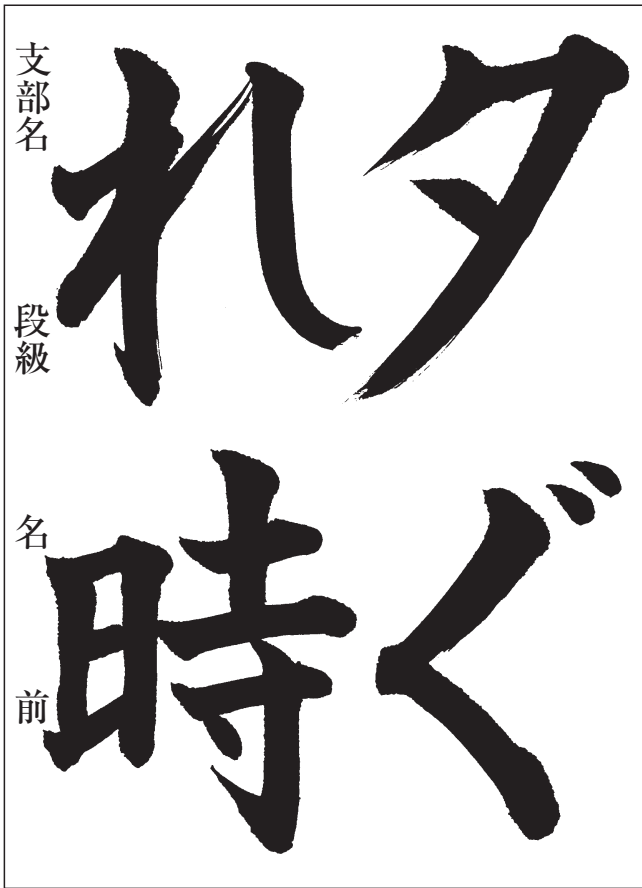
段
級

名
前

渡邊南嶂先生

(11月10日締切)

小4用



支部名

段級

名

前

大越三宗先生

小5用



支部名

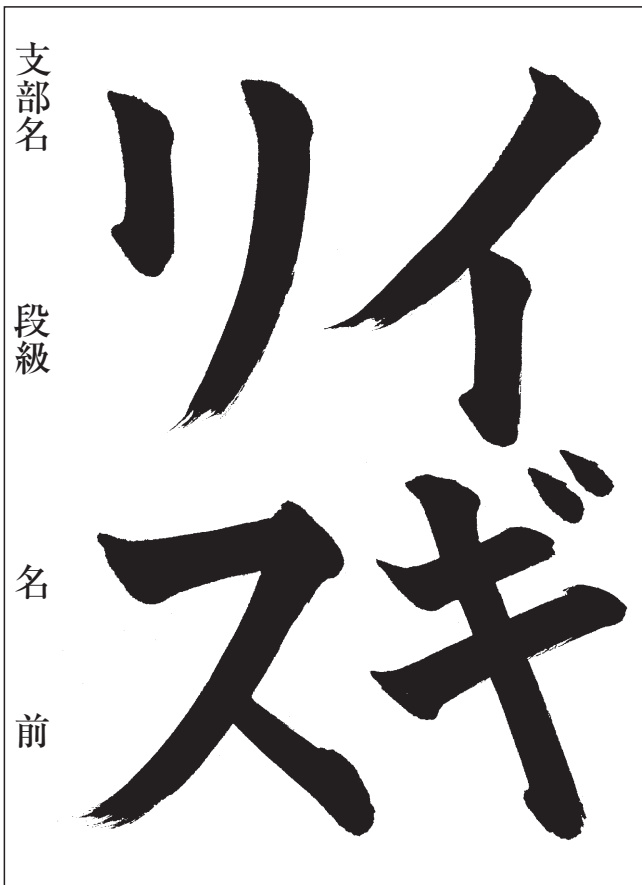
段級

名

前

大越三宗先生

小2用



支部名

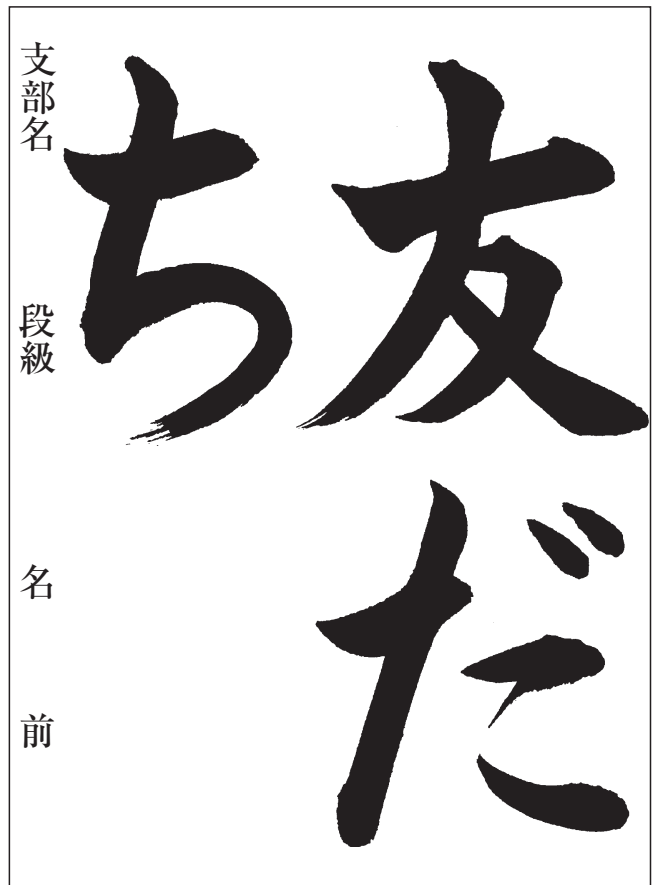
段級

名

前

鈴木翫恵先生

小3用



支部名

段級

名

前

鈴木翫恵先生

(11月10日締切)

中1

読書、スポーツ、芸術
食欲の秋でもある。

中1~中3

中2

昨夜の強風もおさまり
今朝は青空になった。

青柳江

中3

国際的な視野を持つ人
間に成長してほしい。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

はな

鈴木 翡翠 先生

小1・幼年

ゆうやけぞらが、いっ
ぱいにひろがる。

小1~小3

小2

青い空には、お日さま
がかがやいている。

鈴木 翡翠

小3

夕日をあびて、雲が赤
い色にそまっています。

翠先生

小4

ふく風に、さわやかな
秋の色が感じられる。

小4~小6

小5

秋に入ったら、雨の回
数が多くなってきた。

田辺 翠

小6

秋風が、今年も木の葉
を鳴らしています。

鶴先生

(11月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名 段級 名前前

秋深し
山道歩く

主幹 菅野翠濤

支部名 段級 名前前

草の中より
今日の月
あらし吹く

船久保 棠苑先生

※半紙半分を書いて下さい。(11月10日締切) ※半紙半分を書いて下さい。

12月10日締切課題予告

A部条幅規定 夤奉上玄肅恭清廟宵衣吳食視膳之禮無方

B部条幅規定 非金谷滿園樹即是河陽一縣花桓大司馬闡而

かな条幅規定 さらにだにあやしきほどの夕暮に荻ふく風の音ぞきこゆる(斎宮女御)

半紙規定(初段以上) 鐸于曹國因氏焉 半紙規定(二級以下) **中**及萬靈則體

半紙かな(初段以上) 冬枯れの野べとわが身を思ひせば燃えても春を待たましものを(伊勢)

半紙かな(二級以下) 日にかゝる雲やしほしのわたりどり(松尾芭蕉)

12月10日締切学生部課題予告

中三規定 秋風吹く頃 中三硬筆 日本海の荒波が、激しく海岸に打ち寄せる。

中二規定 晴れた月夜 中二硬筆 自分の信念に従い、楽しい人生を送りたい。

中一規定 池の落ち葉 中一硬筆 新しい技術が開発されて生活が便利になる。

小六規定 雪の世界 小六硬筆 字形を正しく整えるために、筆順は大事です。

小五規定 冷たい風 小五硬筆 体育の時間、鉄ぼうでさか上がりができた。

小四規定 冬に入る 小四硬筆 夜空を見上げると、星がかがやいている。

小三規定 かれ草 小三硬筆 冬にはかりなどが日本に、わたってくる。

小二規定 アルプス 小二硬筆 ゆうべ、かわいい子犬がうまれました。

小一規定 まど 小一硬筆 きのう、おかあさんのでつたいをしました。

中学部かな 雪ふると いひしばかりの 人しづか

小学部小筆 北の国 初雪まう